

令和 2 年度プリムラ利用状況 令和 2 年 4 月 1 日～3 年 3 月 31 日

令和 2 年度プリムラ利用状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日	21	18	22	21	16	20	22	19	20	19	18	23	239
補助	18	6	21	51	22	34	64	48	57	30	29	46	426
自主	0	0	1	1	0	0	0	0	4	0	0	0	6
合計	18	6	22	52	22	34	64	48	61	30	29	46	432

令和 3 年 3 月

3月の利用人数は46名でした。利用する子ども達は殆ど鼻水、咳の上気道炎症状でした。3月に入って温かくなってきましたが、寒暖差があり、プリムラでは引き続き湿度や室温の調整、換気を行い、過ごしやすい環境、感染対策を行っています。子供たちは年度末になり、進級するクラスのことを楽しみに話していました。

令和2年度はコロナ対策で、手指や施設のアルコール消毒のためか、胃腸症状は少なく、また夏の手足口病、ヘルパンギーナ、冬のインフルエンザは皆無でした。小児の感染症が全般的に激減していました。プリムラ1年間の利用人数は今年の4分の1でした。

3月末に2度目の緊急事態宣言が解除されましたが、新型コロナウイルスの変異株も多くなり、10歳以下の感染例も増えています。プリムラは来年度も同様に子どもたちを笑顔で迎えたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、保護者の皆様方には入室所の聞き取り等、ご協力ありがとうございました。

令和 3 年 2 月

2月の利用人数は、先月とあまり変わらず29人でした。緊急事態宣言の延長もあり、利用人数は例年より少ない状況です。季節の変わり目で気温の変化も差がある為、室内の加湿や温度調整など小まめに行っていきます。

2月は上気道炎症状が大半でした。プリムラは今後も変わらず引き続き、密になることを回避しながら、子どもたちをお預かりいたします。

令和3年1月

1月の利用人数は、先月の半分以下の30人でした。

1月7日に緊急事態宣言が発令されました。今回は学校の休校や保育園への自粛要請はありませんでしたが、病児保育もその影響を受け利用人数が減少したと思われます。

利用者には重症の子はほとんどおらず、様子見や軽い上気道炎症状の子が大半を占めました。利用者が少ない中でも密を回避しながら、感染症対策をしっかり行っていききたいと思います。

令和2年12月

12月の利用人数は、先月よりも増えて57名でした。

例年12月はインフルエンザが流行し、インフルエンザでの利用者が増加しますが今年はインフルエンザでの利用者は0人となりました。

25日のクリスマス当日は職員による出し物を楽しみました。びっくりして泣く子の姿も見られましたが、披露されたマジックショーに釘付けの子どもたちでした。

コロナ感染症の流行は続いています。消毒や換気などできることをこれからも徹底していききたいと思います。



シャバーニサンタの
マジックショー★

令和2年11月

11月の利用人数は、先月より少し減り48名でした。

今月最も多かった疾患名は、上気道炎で35名でした。咳や鼻汁症状での利用者が多くみられました。今月に入り気温も更に下がり、空気も乾燥しているので、引き続き加湿やこまめな水分補給、部屋の温度調整等の快適な環境づくりをしていきます。

また、子どもたちが安心して、楽しくゆっくり過ごせるように、一人ひとりに寄り添った関りや遊びを提供していきたいと思います。

令和2年10月

10月の利用人数は、先月より倍近く増えて64名でした。

今月最も多かった疾患名は、上気道炎で51名でした。当日の朝に発熱や咳、鼻汁症状が出てからの予約の利用者が多くいました。

今後は、インフルエンザや嘔吐下痢症等の感染症が流行する時期なので、加湿やエアコンの調整を適宜行い、乾燥や身体を冷やさないように配慮して、健やかに過ごせるようにしていきたいと思います。

令和2年9月

9月の利用人数は、先月より少しずつ増えて34名でした。

今月最も多かった疾患名は、上気道炎で30名でした。季節の変わり目となり気温が低くなり気温の寒暖差も出てきました。今後は、乾燥にも気をつけながら水分補給や手洗いうがいを続け、予防に努めていきたいと思います。

令和2年8月

8月の利用人数は、先月の半分以下の22名でした。

小学校の夏休み開始やお盆休みなどの休みがあり、自宅で過ごす人の増加や感染症予防の為に外出の自粛などをされる人も増えていったと考えられます。近隣施設でのコロナ感染者の発生や子どもの感染者も出てきているので区との連携を図りながら安全な病児保育の環境作りを柔軟に行っていきます。

令和2年7月

7月の利用人数は先月の倍近くの52名となりました。

保育施設への登園自粛要請(家庭保育の協力)が終了し、通常保育に徐々に戻っていったことに伴い、病児保育の利用人数も増加していきました。利用者は回復後の様子見や軽症な症状での利用が大半を占めていました。

今月中旬より再び新型コロナウイルスの感染者が増加傾向です。子どもは家族内感染が大半なので、今後も病児保育の利用に際しては、ご家族の状況をお尋ねしますので、ご協力をお願いいたします。

令和2年6月

6月の利用者数は22名でした。

疾患名は、上気道炎が11名でした。

緊急事態宣言解除後は、登園や登校の制限が緩和され、外出の増加や人との接触も増えて病児の利用者も徐々に増加していきました。

例年なら手足口病やヘルパンギーナなどの夏に流行する感染症の発生は今年は殆どありません。

令和2年5月

5月の利用者数は6名で過去最少人数となりました。

疾患名は咽頭炎、上気道炎、溶連菌感染症が各2名ずつでした。

緊急事態宣言が5月末まで延長したこともあり、病児保育の利用も減少傾向となりました。

5月26日から緊急事態宣言が解除となり、6月から小学校や幼稚園が再開されました。保育園は6月末までの登園自粛がまだ継続しています。

令和2年4月

4月の利用者数は18名でした。年齢別では2才児の6名(33%)、3才児の4名(22%)、1才児と4才児が同数の3名(16%)でした。

疾患別では上気道炎と咽頭炎が同数の7名(38%)、溶連菌感染症の2名(11%)でした。

国から新型肺炎コロナウイルス感染症拡大防止の為の緊急事態宣言発令後の4月7日以降は、小学校休校や幼稚園、保育園の登園自粛がありますが、プリムラは通常通りに開室しています。